

ふれまち八多

第171号

<編集・発行>



八多ふれあいの
まちづくり協議会
TEL 078-982-0514

あけましておめでとうございます



神戸市立八多小学校・中学校全景

八多町に神戸市里山エリア 初の小中一貫校が！

八多町では八多小・中学校の校区内に毎年20人程度の子供がいるにもかかわらず、「通学の利便性による理由」で毎年多くの児童・生徒が指定外通学をして人数が減少しています。この規定の見直しを神戸市教育委員会に要望してきましたが、全市的な問題で変更は困難であるとの回答でした。

それに代わり、神戸市教育委員会から八多町活性化協議会で八多町の特色を生かした魅力ある学校づくりとして神戸市で里山エリア初の小中一貫校の設置構想が提示されました。神戸市では港島学園という義務教育校が1校ありますが、里山地区では神戸初となり、令和5年度開校を目指し準備が進みます。

同一敷地内に小中学校が設置されていること、「八多学園プロジェクト」としてすでに学校と地域が連携した活動がなされている事などが評価されました。

八多町にとって大変大きなニュースです。大改革ですので来年度から準備に入る予定ですが、内容を充実するためには地域も学校と協力して頑張らねばなりません。ご協力よろしくお願いします。



落花生の収穫



今年はコロナ禍で例年実施している中学2年生のトライやるウイークが神戸市教育委員会の指示で2日間に短縮。八多町では中学校の依頼に応えて地域で農業体験と茅刈りを実施しました。まず、最初は11月16日(月)に農業体験。左記の4軒の農家のお世話になりました。

(敬称略)

- 狩俣芳夫(附物)圃場づくり
- 下浦正士(附物)里芋掘り
- 常澤聰美(西畑)落花生の収穫とリースづくり
- 山口明美(附物)こんにゃくづくり

農業体験と茅刈り 八多中学生のトライやるウイーク

中学2年生のトライやるウイークが神戸市教育委員会の指示で2日間に短縮。八多町では中学校の依頼に応えて地域で農業体験と茅刈りを実施しました。

まず、最初は11月16日(月)に農業体験。左記の4軒の農家のお世話になりました。

(敬称略)



2日目は11月28日(土)に茅刈り体験。八多中学校1・2年生32名と特別に外國語指導助手(ALT)の先生も7名が参加。朝9時にふれあいセンターに集合し、6班に別れ徒步で茅場の小路畠池へ。現地で鎌を受け取り地元自治会やふれまちの役員さんの指導で茅刈り開始。

最初は戸惑った鎌も慣れる手に使い上手に使えました。最初は緊張したけど楽しかったです。

ALTの先生と一緒にできてうれしかつたです。初めての茅刈りで最初は難しそうだと思っていたけど、茅刈りしたら楽しかったです。ALTの先生とたくさん話したり色々言葉を教えてもらいました。最初は緊張したけど楽しかったです。

ALTの先生と一緒にできてうれしかつたです。初めての茅刈りで最初は難しそうだと思っていたけど、茅刈りしたら楽しかったです。ALTの先生達と楽しく茅刈りができるよかったです。

2日目は11月28日(土)に茅刈り体験。八多中学校1・2年生32名と特別に外國語指導助手(ALT)の先生も7名が参加。朝9時にふれあいセンターに集合し、6班に別れ徒步で茅場の小路畠池へ。現地で鎌を受け取り地元自治会やふれまちの役員さんの指導で茅刈り開始。

2日目は11月28日(土)に茅刈り体験。八多中学校1・2年生32名と特別に外國語指導助手(ALT)の先生も7名が参加。朝9時にふれあいセンターに集合し、6班に別れ徒步で茅場の小路畠池へ。現地で鎌を受け取り地元自治会やふれまちの役員さんの指導で茅刈り開始。

休憩を挟み約1時間半で茅場をきれいに刈り取りました。その後、ふれあいセンターに戻り、神戸大前延夫さんの講演で「今、茅葺き民家を保存することの意味」を教えていただきました。



こんにゃく芋掘り

最後に中学生の感想文を紹介します。

(敬称略)



○不老千春(2年)

便利な生活に慣れてしまって暑い時はクーラーが、寒いときは暖房がある

というのが当たり前になってしまってだったので伝統的で環境にも優しい茅葺きはいいなと思いました。茅刈りは中々できないと思うので楽しかった。

○竹垣聰真(2年)

僕たちの身近にあるふれあいセンターの茅葺きがこんなに貴重ですごいものだったのかと改めて感じました。皆と先生と地域の人々とALTの先生達と楽しく茅刈りができるよかったです。



燃えないごみにカセットボンベ・スプレー缶が混ざると、ごみ収集車の発火事故が発生します。

1. 中身は全部使い切つてください!

2. 穴あけ不要です!

3. 燃えないごみと分けて、中身の見える袋で出してください!

4. クリーンステーションに燃えないごみと場所を分けて出してください!

ご協力よろしくお願いします。
中身が使い切れないものについては各区の環境局事業所までご相談ください。



廃品回収

(年3回)



第3回 2月7日(日)



みんなで考えよう! 八多町の未来

ふれあいセンターで開催されました。参加者は約30名。前回に出されたみんなの意見をまとめた9つの検討項目（①自然・環境・地区のイメージ②住環境・土地問題③交通アクセス・移動手段④利便性・地域の活力・産業⑤地域の人柄・人間関係・コミュニティ⑥若者や子供たちの将来・地域の人口⑦農業の将来・農地の活用⑧子供の教育環境・学校⑨安心安全な地域）がコーディネーターの浅見先生から提示され、それを実現するには地域住民としてどうすべきでどんなルールが必要か、また、行政に要望することは何かを考えていきました。次回の第4回（令和3年1月15日）も引き続き同じテーマを考えてまいります。

里づくり協議会 検討部会報告

八多町農村ツーリズムイベントのお知らせ

昨年はコロナ禍において八多町でも多くのイベントが中止され地域活性化の遅れが懸念されました。そんな中、自治会では神戸市の農村ツーリズムの補助を受けて淡河町とも協力し、右記の事業に取り組みます。

- ◆タイトル **八多淡河スタンプラリー**
～歩くか走るかHATAしてどっち? OH! GO!
 - ◆日 時 **3月12日(金)～14日(日)** 9時～16時
 - ◆参加方法 **自由参加** (開会式などは行いません)

※詳細は後日お知らせします。



久しぶりの
笑顔・笑顔！

本年度初の「はなみずき会」



ぼられました。食事は手作りを避けて岡場の陽気会から仕出し弁当。コロナで自由におしゃべりはできないけれど久しぶりにみんなでいただく食事は最高。やはり人と人とのつながりの大切さを実感。お楽しみ会もできないので、昔の八多の写真を見てもらつたり、民生委員の森さんの指導で軽く体操。13時過ぎにはまた「八多の里」の送迎車で帰途に。

*その後、新型コロナの感染拡大で12月・1月は中止。新しい年の実施も未定。新型コロナが早く収束し、みんなと会える事を願っています。

コロナ禍で中止していた「はなみずき会」が令和2年度初めて11月18日（水）ようやく復活。11時頃「八多の里」の送迎車で次々に会員のお年寄りがふれあいセンターに到着。参加者はいつもよりやや少なめの27名。検温・消毒・マスクなど十分なコロナ対策をして実施。民生委員さんと久しぶりの出会いに「元気

北区シニア Dクラブの活動報告



ボウリング大会 自慢の腕競う



山垣明寿会会長（中央）

八多淡河バス 利用者数 (合計・日平均)

八多淡河あんしんすこやかセンターだより

八多中学校で認知症サポーター養成講座を行いました

11月に八多中学校では6年目になる、中学1年生の授業での認知症サポーター養成講座を行いました。

神戸市の認知症キャラバンメイトの講師から「認知症ってなんだろう?」と言うお話を聞きました。その後に地域の高齢者の方が困っていたらどう声を掛けたらよいだろうかを中学生の皆さんで考え、実際に高齢者役の校長先生に声をかけてみてもらいました。終了後には認知症サポーターの目印であるオレンジリングを皆さんにお渡ししました。

神戸市認知症の人やさしいまちづくり条例の施策に地域の力を豊かにしていくことがあります、認知症の学習会もそのひとつに上がっています。

地域全体で認知症の方に対する理解が深まり支え合っていけるように、今後も認知症サポーター養成講座を開催していきます。

八多淡河あんしんすこやかセンター
TEL: 078-950-9165
FAX: 078-950-9166



中学生の皆様より八多町の高齢者の方へメッセージをいただきました!

『今コロナで生活が不便だったり、不安な気持ちになっていると思いますが、いつかコロナが終息して、元通りの生活に戻れる日は絶対に来るので、未来はきっと明るいものだと思って生きてください。大変なのは私たちも一緒なので、共にコロナを乗り越えましょう。』

『正直コロナだけじゃなく怖いものはたくさんあると思います。今は、何でもできることは少ないです。でも八多の人たちは強いです。なので僕もなにかで誰かに勇気をあたえられるといいです。何でも無理をせずにでもたくましく生きてください。』

柳谷 中八太鼓様（26周年記念）
田和隆治様（供養として）
ありがとうございました

「八多村発見の旅」に出かけませんか！

八多村が神戸市に編入されたのが、昭和26年7月1日です。今年でちょうど70年になります。

10年ごとの節目節目で古き善き八多村に思いを馳せてこれから八多町を考えるきっかけにするのはたいへん意義深いことです。70周年事業の一環として、今年の7月には「ふれまち八多増刊号」を発行していくので、ぜひ町民のみなさまのご協力をいただきたいと思います。現在、ふれまちの役員でチームをつくり、元八多村民の方のお宅を訪問して直接お話をうかがったり、写真や記念の品を見せていただいている最中です。すでに7人の元村民の先輩方にお話をうかがっています。みなさん、大変喜んで昔話を語っていただき、中には家族の方も初めて聞くような話も飛び出します。

コロナ禍にあっても、オンライン等でなんとかコミュニケーションをとる工夫は進展してきていますが、人間社会にとってその時、その場所を共有するlive（ライブ）

の重要性、かけがえのなさが強烈に認識されることとなりました。この時期に70年前の八多村最後の瞬間にライブで立ち会えた先輩方から直接お話を伺うチャンスは大変貴重だと改めて実感しました。

この事業を、元村民の方々の記憶の中にある「八多村発見の旅=go to Hata village」にしたいと思います。ぜひ、みなさんも参加しませんか？「私の話も聞いて」、「おじいさん、おばあさんの話を聞いてあげて」、「古い写真が見つかったんやけど見てほしい」というお声をお待ちしています。ぜひ、出張所までご連絡、ご訪問ください。



八多出張所長 矢野 正人 078-982-0002

あけましておめでとうございました。昨年はコロナ禍の一年でした。まだまだ収束が見えません。当分コロナ時代をどう過ごすかが課題になりそうです。さて、八多町では里づくりや小中一貫校問題が動き出し、最近は若手の活動も出てきました。よう思います。また、今年は神戸市に合併して70年目の節目の年でもあります。みんなで八多町の未来を考えましょ。今もよろしくお願いします。

編集後記

**新型コロナウイルス感染症
保健所からのお願い**

**感染症
基本対策**

**普段からの
3つの心掛け**

- 人の集まる場所では
きでも窓を開けて、換気を心掛けましょう
- 人ととの距離が1m未満
でのマスクの着用と、
手洗い、手指（特に指先）
の消毒をしましょう
- 熱がなくても
せきなどの状症があれば、外出を控え
仕事を休みましょう